

令和元年度 事業報告

1 概要

令和元年度の請負事業の実績は 645,829,224 円となり、前年度比 2.8%減、金額にして 18,292 千円の減となった。これは、前年度に区から受託した高齢者福祉サービスのしおり「たんぼぼ」の全戸配布業務が令和元年度はなかったことや、生涯学習センター別館の管理業務の終了、作業所関連の受注の減少等が主な要因である。また、派遣事業の実績は、主力となっていた運送業務での契約が平成 30 年度をもって終了となったことが影響し、約 2,000 万円の減収となった。

こうした事業収益の悪化に対応するため、各種機器の入替え等により消耗品費の削減を図るとともに、配分金支払い日の変更による職員の超過勤務時間の抑制等に取り組んだ。

会員拡大については、南部地区での会員数の増加を図るため、同地区に限定した会員募集チラシを全戸配布したところ、ハローワークでの出張相談件数が 23 件あり、そのうち 7 名の新規入会があった。また、入会説明会を月 2 回実施することとし、入会承認を理事会決定から会長決定で行えるよう定款改定を行って、新規入会者の早期の就業を可能とする仕組みを構築した。しかし、前年度にやや下げ止まりの傾向にあった会員数は、病気等の理由による退会者の増加もあり、令和元年度は前年度比 61 名減となる 1,663 名という結果となった。

また、令和元年度は、当センターの第二期中期計画（平成 27 年度～令和元年度）の最終年度に当たっていたため、次期中期計画（令和 2 年度～令和 6 年度）の策定を行った。策定にあたっては、第二期中期計画期間の実績を評価するとともに、7 月にお客様満足度調査・会員アンケートを実施し、その結果を踏まえ、社会情勢の変化等を勘案して、数次にわたる部会等での審議を行った。

昨年度の消費税の増税や本年に急速に拡大した新型コロナウイルス感染症の影響もあり、景気の動向は極めて厳しい状況にあるが、これからも当センターは、入会者の増加促進や退会者の抑制を図るための諸方策を地道に実施し、高齢者の活躍の場を支える公益社団法人としての責任を果たしていく。

2 会員状況・事業実績等は後記のとおり。

3 諸会議の開催

(1) 定期総会	1 回
(2) 臨時理事会	1 回
(3) 理事会	12 回
(4) 地域班長会議	4 回
(5) 安全管理委員会	5 回
(6) 入会説明会	20 回

(7) 総務部会	8回
(8) 事業部会	5回
(9) 広報部会	16回
(10) 合同部会	2回
(11) 地域班連絡会議	19回
(12) エンジョイ家援隊会議	11回

4 事業の実施内容

(1) 普及啓発活動の推進

ア 会員広報誌として「シルバーすみだ」を年4回発行した。

イ 区のお知らせ、区勢概要、私の便利帳等の区刊行物を積極的に活用し、事業の普及啓発に努めた。

ウ 区内循環バス内に広告を掲出し、事業の普及啓発に努めた。

エ 10月を広報活動強調月間に設定し、次の事業を実施した。

(ア) 第44回すみだまつりに参加し、事業の普及啓発に努めた。

(イ) 区内商店街や大型スーパー店等で啓発物資を配布した。

(ウ) すみだ消費生活展に参加し、就業相談を実施した。

オ リーフレットや啓発物資を作成し、配布した。

カ ホームページにより、シルバー人材センターの紹介等を行った。

キ 令和元年10月17日～19日にすみだ生涯学習センターにおいて、老人クラブ連合会主催の作品展で会員の作品を展示した。

ク 「スポGOMI IN すみだ環境フェア 2019」に、もてなし隊をはじめとしたセンター会員が参加し、センター事業の普及啓発に貢献した。

ケ ボランティアまつりの協賛事業者として、社会福祉協議会のボランティアまつり開催プログラムにセンター記事を掲載した。

コ 「これからシルバー応援フェスタ」に、センター普及啓発活動の一環として参加し、センター事業の普及啓発に努めた。

サ 墨田区南部地域（本所地区）の会員を募集するため、南部地域約45,000世帯を対象に会員募集チラシを配布した。

(2) 就業機会拡大のための事業、研究

ア 就業機会拡大のための技術講習の一環として、東京しごと財団で行われる研修に会員が参加して、技能の向上を図った。

イ 受注拡大のため、積極的にPR活動を行った。

ウ 家事援助事業の受注拡大のため、「エンジョイ家援隊」チラシを配布する等のPR活動を行った。

エ ホームページ会員専用サイトに求人募集記事を掲載するとともに、当センター事務局に就業情報を掲示し、会員への求人情報の提供に努めた。

オ 定款を改正し、入会承認を理事会が会長に委任できるものとし、入会希望者に対して入会承認と就業機会提供の迅速化を図った。

カ 第三期中期計画策定に必要な情報を収集するため、発注者 615 団体（人）・センター会員 1,648 名に対して、アンケート調査を実施した。

(3) 会員・役員研修

ア 第一ブロック（墨東五区）シルバー共催

(ア) 正副会長会議（江東区）	1 日	2 人
(イ) 安全管理研究会（江東区）	1 日	4 人
(ウ) 安全就業研修会（江戸川区・江東区）	2 日	16 人

イ 墨田区シルバー主催

(ア) パソコン研修	61 日	1,029 人
(イ) 東京 2020 オリンピック・パラリンピック競技大会都市ボランティア Eラーニング研修	3 日	30 人程度
(ウ) 人権研修	1 日	28 人

ウ 東京しごと財団主催

(ア) 役員研修（経営管理）	1 日	2 人
(イ) 新任理事研修	1 日	2 人

エ 業務別懇談会

(ア) 押上駅前自転車駐車場業務会議	2 日	49 人
(イ) スカイツリー周辺美化清掃会議	3 日	28 人
(ウ) もてなし隊会議	1 日	11 人

オ 職員研修

第一ブロック（墨東五区）共同研修の開催及び財団主催の合同研修への参加等により職員の資質向上を図った。

カ 基礎講習会

就業にあたり必要な注意点や心構えを説明するため、新入会員及び未受講の既存会員を対象にした基礎講習会を開催し、170 人の会員が受講した。

(4) 相談業務

ア 就業相談・発注者相談は、その都度事務所において実施した。また、区のイベント等でも高齢者の就業相談を行った。

イ ハローワーク墨田において、入会や就業に関する相談等を行う出張相談を、毎月実施した。

ウ 入会説明会の実施回数を、8月から月2回とした。

(5) 安全対策

- ア 安全管理委員・安全対策推進員・安全就業推進員合同による安全管理委員会を開催し、安全就業の強化・推進を図るため、安全対策実施計画を策定した。
- イ 7月を安全就業強化月間に定め、安全就業に関するチラシと啓発物資を配布した。
- ウ 安全管理委員等による、就業現場の安全パトロールを13回（計30ヶ所）実施し、安全具の整備・点検及び実態把握を行った。
- エ 安全就業強化月間の際、自転車修理を得意とするセンター会員2名により、自転車の安全点検を実施した。
- オ 「シルバーすみだ」に事故防止及び健康管理について記事を掲載した。
- カ しごと財団主催の安全講習会に参加するとともに、第一ブロック共同で安全管理研究会を開催し、事故原因の分析及び再発防止対策等を検討した。
- キ 仕事別従事会員等において、就業中、就業途上及び帰宅途上の事故防止について呼びかけた。
- ク 会員の自転車事故防止のため、警察協力のもと、当センター駐車場及び本所警察署にて、自転車安全運転講習会を実施した
- ケ 熱中症対策のために、会員にマジクールフィット等を配布した。
- コ 配分金明細書に、安全に関する啓発記事を同封した。

(6) 健康増進事業の推進

ア カラオケ教室	12回	328人
イ ウクレレ教室	18回	338人
ウ 健康体操教室	10回	248人
エ すみだ花体操教室	20回	669人

(7) 社会奉仕活動

すみだボランティアまつりにボランティアとして参加し、社会奉仕活動を実施した。

(8) 労働者派遣事業

- ア 事業拡大のため、労働者派遣事業に関するリーフレットを作成し、墨田区内の事業者等に配布する等のPR活動を行った。
- イ 会員に対して、労働者派遣事業の理解浸透と、派遣会員への登録を促進するため、派遣会員登録説明会を3回実施した。
- ウ 派遣就業に従事する会員に対し、入職時研修等を随時実施した。

(9) 第三期中期計画

第二期中期計画（平成 27 年度～令和元年度）の終了を受け、令和 2 年度以降の 5 年間の基本方針と、それに伴う事業実施内容を定めた、第三期中期計画を策定した。